## 令和3年度前期 授業評価アンケートに対する改善報告書

授業科目名:質的研究方法特論 授業コード: M11006

担 当 教 員 氏 名 講師 相澤出

このたび、初めて大学院での講義担当をしました。不慣れな講師ゆえに、受講者の皆さんを戸惑わせることもあったと思われます。本講義ではテキストの報告を各人に毎回担当してもらうなど、いささか負担が大きい講義だったと思われます。しかし、受講者の皆さんは、全員社会人院生であるにもかかわらず、毎回講義に準備をして臨まれており、質問、発言も多くあったと思われました。社会学が土台となっている講義ゆえに、普段接しない論点も多々出ていたと思われますが、積極的な受講者の受講態度に、講師も支えられた講義でした。講義に関しては、時間超過を私がしてしまうことに反省すべきところがあったと思われます。時間割など、開講時間の設定がうまくいかず、受講生にご負担をかけたところがあります。この点も改善すべき点と考えられました。

授業科目名:母性看護学特論 I 授業コード: M31005

担 当 教 員 氏 名 教授 江守陽子

特になし。もう1年様子を見たい。

授業科目名:母性看護学演習 I 授業コード:M31007

担 当 教 員 氏 名 | 教授 江守陽子、助教 大谷良子、助教 佐藤恵

特になし。もう1年様子を見たい。

授業科目名:小児看護学特論 I 授業コード:M31009

担 当 教 員 氏 名 教授 濱中喜代

特論では教員評価の8の「授業は理解しやすい内容だったか」、9の「指導やコメントの内容は適切だったか」が3とやや低めの評価であった。また自己評価の10のプレゼンや11・12の事前事後学修、態度において2と低かった。本人と意見交換した結果、最終ゴールが明確でなく、学びの範囲が広いため、十分で学べていたのか不安に思うこともあったという。学びを深め、広げてほしいとの願いから限定的なゴールを示していなかったことが要因と考えられる。

今後は現段階でのゴールを明確に示し、院生のできていることを確認する会話を増やすなどの 対応に心掛けたい。

授業科目名:小児看護学演習 I 授業コード: M31011

担 当 教 員 氏 名 教授 濱中喜代、講師 下野純平

演習では特論同様に自己評価は低かったが、教員評価の8・9は低くなかった。テーマや内容が具体的であり、院生の持ち味が発揮されやすい内容であったためと考えられる。今後はさらに継続して院生の学びを評価し、自信につながるように教授していきたい。

## 2021 年度授業評価アンケート

本アンケートは、大学院における授業改善を目的として実施しています。個人を特定できないよう無記名でご回答いただけます。回答は自由意志ですが、ご協力いただきますようお願いいたします。

※教員が複数で担当している場合はおおむねの状況で判断し、特記事項については自由記述欄 に記入してください。

以下の質問について、あてはまると思う番号を選択してください。

【科目名:大学で入力】 【授業コード:大学で入力】

No.	質問内容	全くそう思わない		() )	強くそう思う	
1	シラバスの概要、目標、内容、方法、評価基準は、適切でしたか。	1	2	3	4	5
2	指定された参考図書や教科書は、適切でしたか。	1	2	3	4	5
3	配布されたレジュメや資料は、適切でしたか。	1	2	3	4	5
4	授業の回数は、適切でしたか。	1	2	3	4	5
5	1回の授業での進度は、適切でしたか。	1	2	3	4	5
6	開講時期や曜日、時間は、適切でしたか。	1	2	3	4	5
7	講義方法は、適切でしたか。	1	2	3	4	5
8	授業は、理解しやすい内容でしたか。	1	2	3	4	5
9	教員の指導やコメントは、適切でしたか。	1	2	3	4	5
10	プレゼンテーション(担当課題)の事前準備は適切でしたか。	1	2	3	4	5
11	演習や課題等に関する事前・事後学修は適切でしたか。	1	2	3	4	5
12	授業に参加する態度(質問や発言)は適切でしたか。	1	2	3	4	5
13	授業から知的刺激を受け、関連する学修を深めたいと思いましたか。	1	2	3	4	5
14	授業の成果を研究活動に活用できると思いますか。	1	2	3	4	5
15	この授業に関する感想、意見、要望をご自由に記載して下さい。					

※授業評価アンケートは Google フォームにて回答を求めた。

## 大学院授業改善報告書

授業科目名:	授業コード:					
担当教員氏名						
開講年度・時期 令和 3	年度 前期・後期・通年(どれか1つを○で囲む)					
1. 授業評価アンケートの結果を踏まえた改善策、または感想等(この部分は公開予定です。)						
2. 受講している院生の状況や課題	等、授業評価アンケートに対するご要望、ご意見等					

※令和3年11月19日(金)までにご返送願います。